BSL-WS-G2024MR BSL-WS-G2016MR かんたん設定ガイド

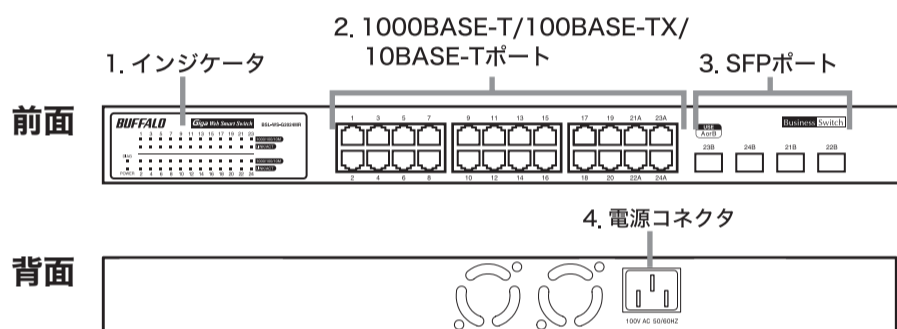
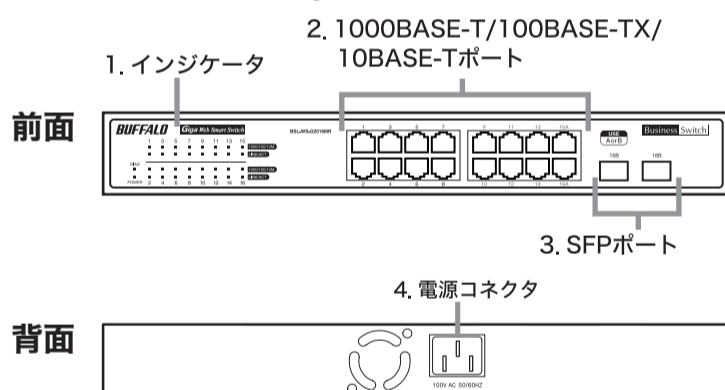
このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 パッケージ内容/各部の名称とはたらき

パッケージには、次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□スイッチ(本体) 1台
□電源ケーブル(AC100V 用) 1本
□2P-3P 変換コネクタ 1個
□ゴム足 4個
□19インチラック取り付け金具 2個
□取り付け金具固定用ネジ 8本
□ラック固定用ネジ 4本
□かんたん設定ガイド(本紙) 1枚
□安全にお使いいただくために必ずお読みください(保証書つき) 1枚
□BSLシリーズユーティリティCD 1枚
□シリアルNo シール 2枚

※本製品は、本紙によってセットアップができるため、冊子のマニュアルは添付しておりません。本紙よりも詳細な情報が必要な場合は、BSLシリーズユーティリティCD内の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

＜ BSL-WS-G2024MR ＞

＜ BSL-WS-G2016MR ＞

1. インジケータ

POWERランプ(緑)
点灯:電源ON
消灯:電源OFF

DIAGランプ(緑/橙)
緑点灯:正常
橙点灯:起動および自己診断実施中
橙点滅:自己診断中にエラーを発見

1000/100/10ランプ(緑/橙)
緑点灯:1000Mリンク確立時
橙点灯:100Mリンク確立時
消灯:10Mリンク確立時、またはリンク未確立時

Link/ACTランプ(緑)
点灯:リンク確立時
点滅:データ送受信時
消灯:リンク未確立時

2. 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tポート

各ポートは、Auto Negotiationをサポートしています。最適なデュプレックスモード(半二重/全二重)と通信速度(1000/100/10Mbps)を自動的に選択します。
また、各ポートはAUTO-MDIX対応です。相手のポートタイプを自動判別して接続するため、ストレートケーブルとクロスケーブルを使い分ける必要がありません。

⚠注意
・通信速度やデュプレックスモードなどを固定で設定すると、AUTO-MDIX機能が無効となります。
・1000BASE-Tで使用する場合、接続ケーブルはカテゴリ5e以上に対応したIEEE802.3abに適合したものを接続してください。

3. SFPポート

1000BASE-LX、1000BASE-SXモジュールを取り付けるためのポートです。ご利用になるには、オプションモジュール(BS-SFP-GSR、BS-SFP-GLR)(別売)が必要です。ご使用になると、Auto Negotiationとフローコントロールをサポートし、全二重の通信方式および1Gbpsの通信速度で動作します。

⚠注意 21～24ポート(BSL-WS-G2024MRの場合)および15～16ポート(BSL-WS-G2016MRの場合)は、SFPポートと同時に使用することはできません。これらのポートにLANケーブルが接続されていると、SFPポートは無効になります。

4. 電源コネクタ

付属の電源ケーブルを接続します。

ステップ2 設置について

本製品は、平らな場所に設置したり、19インチラックに固定することができます。

平らな場所に設置する

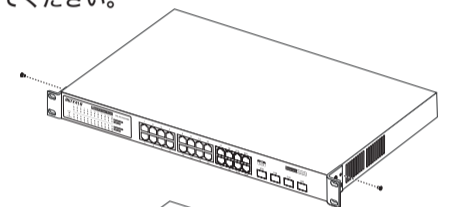
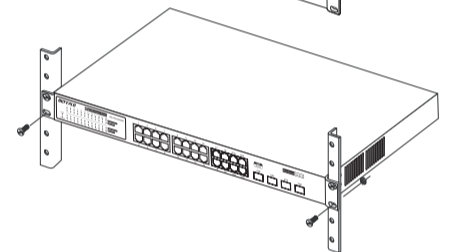
本製品を平らな場所に設置する場合は、本製品底面に付属のゴム足４個を取り付けてください。

⚠注意
・AC電源に近い平らな場所に本製品を置き、本製品の周囲に通気のためのスペースを5cm以上確保します。
・本製品を2台以上積み重ねて使用する場合は、各スイッチにゴム足を4個ずつ取り付け、スイッチをきちんと真上に積み重ねてください。

19 インチラックに設置する

本製品を19インチラックに設置する場合は、付属の19インチラック取り付け金具、取り付け金具固定用ネジ、ラック固定用ネジを使用してください。

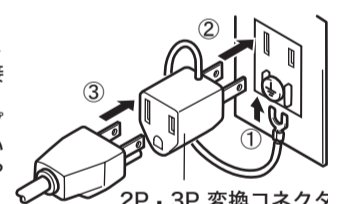
⚠注意
・ラック内の温度は室温より高くなりやすいため、ラック環境の温度が指定された動作温度範囲であることを確認してください。
・ラックに取り付けた装置の上に他の装置を積み重ねないでください。
・ラックに電力を供給する回路が過負荷にならないようにしてください。
・ラックに取り付けた装置は、適切にアースされていなければなりません。供給電源接続時は、主電源への直接接続時以上に注意してください。

1 付属の取り付け金具固定用ネジで金具を本製品側面に取り付けます。
底面にゴム足を取り付けている場合は、取り外してください。
壁に取り付ける場合は、金具を適切な向きに取り付けてください。

2 ラック固定用ネジ４本で、本製品をラックや壁に固定します。

ステップ3 セットアップする

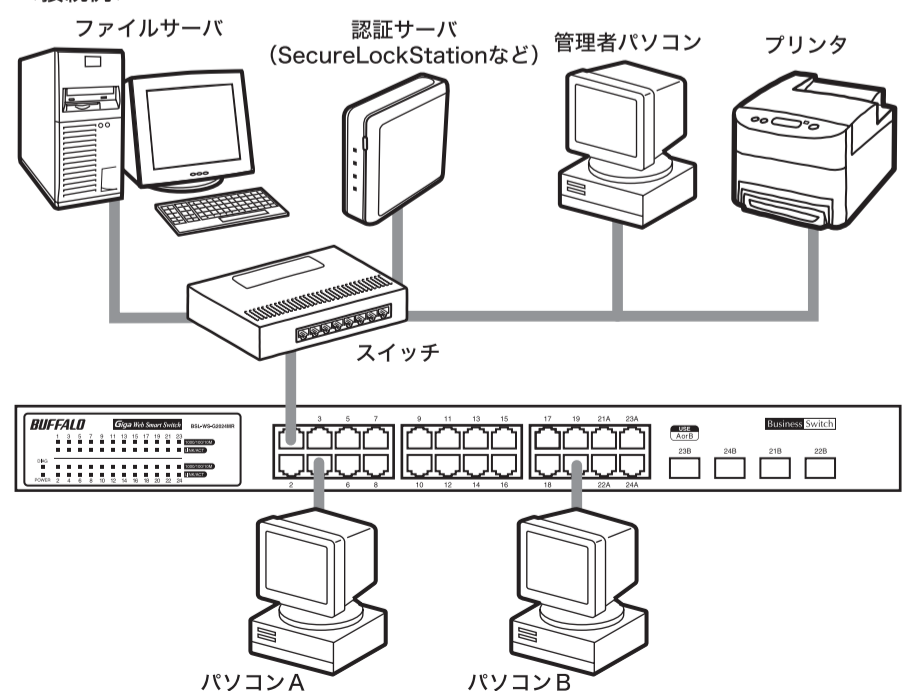
本製品のセットアップは、以下の手順でおこないます。

1 付属の電源ケーブルを使って、本製品をコンセントに接続します。

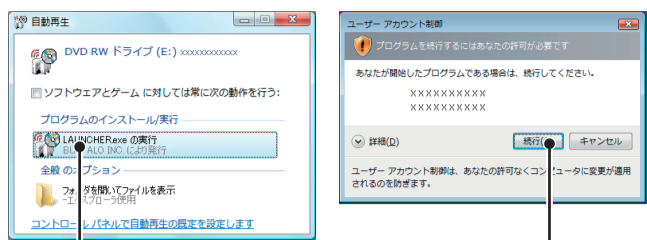
2 前面パネルの POWER ランプが点灯していることを確認します。
POWER ランプが点灯しない場合は、電源ケーブルが正しく接続されているかどうかを調べてください。

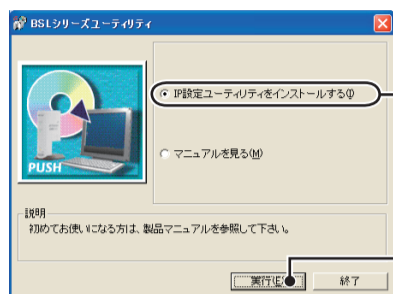
⚠注意 ACコンセントが２極のとき
付属の2P-3P変換コネクタを使って、ACコンセントに接続します。感電防止のため、アース線は必ず接地してください。
アース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。アース線がコンセントや他の電極に接触しないようにしてください。

3 LAN ケーブル(別売)で、本製品、認証サーバ(SecureLockStation など)、ファイルサーバ、パソコンを接続します。
ケーブルを接続したポートのLINK/ACT ランプが点灯することを確認してください。

＜接続例＞

うら面へつづく

4 管理者パソコンを起動します。

5 「BSL シリーズユーティリティ CD」を管理者パソコンにセットします。

⚠注意 以下の画面が表示されたら？（Windows Vista の場合）

「LAUNCHER.exe の 実 行 」をクリックします。　［続行］をクリックします。

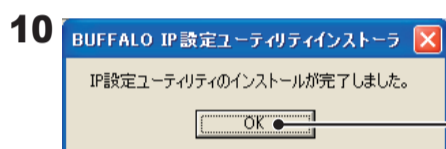
6 「BSL シリーズユーティリティ」が表示されます。

①「IP設定ユーティリティをインストールする」を選択します。

②［実行］をクリックします。

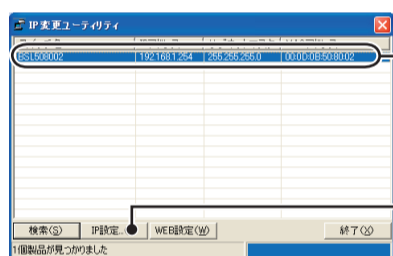
7 インストーラが起動しますので、［OK］をクリックします。

8 使用許諾契約を読み、同意できる場合は［同意］をクリックします。

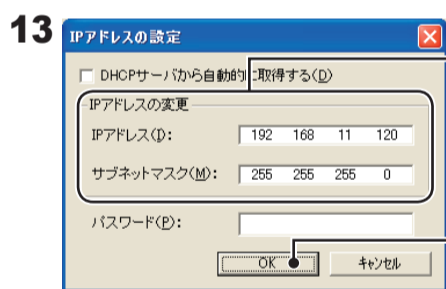
9 ［次へ］をクリックします。

10

①［OK］をクリックします。

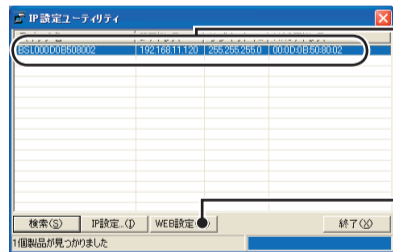
11 「スタート」－「(すべての)プログラム」－「BUFFALO」－「BSLシリーズユーティリティ」－「IP設定ユーティリティ」を選択して、IP設定ユーティリティを起動します。

12 スイッチが検索されます。

①スイッチを選択します。

②［IP 設定］をクリックします。

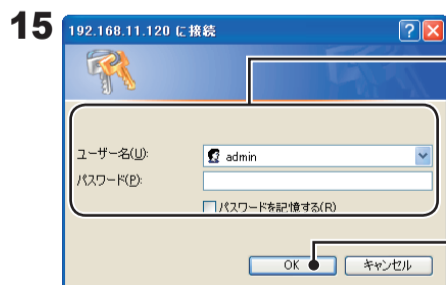
13

①スイッチに設定する IP アドレスを入力します。

②［OK］をクリックします。

14 スイッチの IP アドレスが変更されたら、設定画面を表示します。

① スイッチを選択します。

※DHCP サーバから IP アドレスを取得する設定にした場合、IP アドレスの取得にしばらく時間がかかる場合があります。IP アドレスが、「0.0.0.0」と表示されているときは、［検索］をクリックして、再度スイッチを検索してください。

② ［WEB 設定］をクリックします。

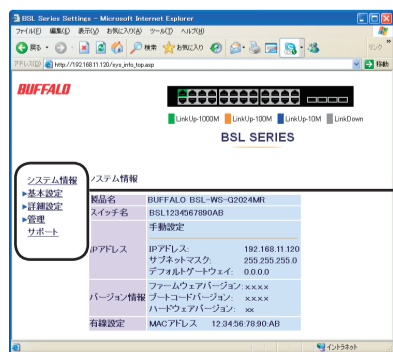
15

① ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、

「ユーザー名」欄 →admin（小文字）

「パスワード」欄 →空欄

と入力します。

② ［OK］をクリックします。

16 設定画面が表示されます。

画面左の設定メニューから設定したい項目をクリックし、設定をおこなってください。

以上で、セットアップは完了です。

ユーザ名とパスワードについてのご注意

本製品に設定したユーザ名やパスワードを忘れると、設定画面が表示できなくなります。その場合は、弊社修理センターまで本製品をお送りください。（有償修理となります）

※ ユーザ名やパスワードの設定変更時は、入力に誤りがないよう特にご注意ください。

困ったときは(電子マニュアルを見る)

■ 電子マニュアルを見る

本製品の詳細設定画面の説明やトラブルシューティングの内容をご覧になりたい場合は、下記の手順でユーザーズマニュアルを参照してください。

※ Windows Vista をお使いの場合で、「自動再生」画面や「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合は、それぞれ［LAUNCHER.exe の実行］、［続行］をクリックしてください。

1 「BSL シリーズユーティリティ CD」をパソコンにセットします。

2 「マニュアルを見る」を選択して、［実行］をクリックします。

3 「ユーザーズマニュアル」が表示されます。

■ 設定画面が表示できない

上記「電子マニュアルを見る」の手順で、ユーザーズマニュアル内の「困ったときは」を参照してください。

■ 設定方法が分からない

上記「電子マニュアルを見る」の手順で、ユーザーズマニュアルを参照してください。

仕様

■製品仕様

LANインターフェイス	IEEE802.3(10BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)、IEEE802.3ab(1000BASE-T)準拠
伝送速度	10/100/1000Mbps
スイッチングデータ転送方式	ストア&フォワード
伝送路符号化方式	マンチェスターコーディング(10BASE-T) 4B5B/MLT-3(100BASE-TX) 4D-PAM5(1000BASE-T)
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度 (スループット)	14881パケット/s(10BASE-T) 148810パケット/s(100BASE-TX) 1488095パケット/s(1000BASE-T)
バッファ容量	512kB
Jumboフレーム	最大 9,216Bytes(ヘッダ14Bytes+FCS 4Bytes含む)
アドレステーブル	8192件
ポート数	BSL-WS-G2024MR:24ポート(全ポートAUTO-MDIX対応) BSL-WS-G2016MR:16ポート(全ポートAUTO-MDIX対応)
適合ケーブル	カテゴリ3以上 2対UTP/STPケーブル(10BASE-T) カテゴリ5以上 2対UTP/STPケーブル(100BASE-TX) カテゴリ5e以上 2対UTP/STPケーブル(1000BASE-T)
伝送距離	100m
コネクタ形状	RJ-45型モジュラジャック
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	BSL-WS-G2024MR: 最大43W BSL-WS-G2016MR: 最大32W
外形寸法	BSL-WS-G2024MR: W440×H43×D257mm BSL-WS-G2016MR: W330×H43×D231mm
重量	BSL-WS-G2024MR: 3.4kg BSL-WS-G2016MR: 2.4kg
動作環境	温度:0℃～40℃ 湿度:10%～85%(結露なきこと)
取得規格	VCCI ClassA

■主な出荷時設定

機能	パラメータ	出荷時設定
IP設定	スイッチ名	BSL ＋ 本製品のMACアドレス
	IPアドレス	192.168.1.254
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
	DHCPモード	無効
認証	ポート認証	全ポート:「認証しない」
セキュリティ	ユーザ名/パスワード	ユーザ名:admin パスワード:設定なし

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。

・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。

・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。

かんたん設定ガイド
2007年 5月 31日 初版発行 発行 株式会社バッファロー